1 Asukakyo-enchi Nara Period **Nara Pref.asukamura**

神仙蓬莱思想は不老不死の願望を満たす

飛鳥時代になると中国、朝鮮から神仙蓬莱思想が伝えられた。この思想は不老不死への願望を満たしてくれそうなので、秦の始皇帝から始まり、漢の武帝など古代中国の権力者がこの思想に熱狂した。日本でもこの思想はすぐに蔓延し、「島大臣」と言われた蘇我入鹿も池を作り、その中に蓬莱山島を作って不老長寿の儀式を行った。更に天武天皇、持統天皇にも引き継がれ飛鳥地方に不思議なモニュメントが生まれた。この思想は人間の根源的願望を叶えてくれそうなので、今日まで影響を与えている。いわば日本人の DNA に組み込まれた風俗になっている。

庭園

発掘現場の様子は後に作られた平城京東院と比べると、池が浅いことは似ているが、護岸は石積されていて新羅の雁鴨池をごく小さくした庭園だ。一方、過去に発掘された石像などで修景されていて、現在の日本庭園とは趣が異なる。

中島の発掘現場

南池の池中に**島状石積み**

亀形石造物遺構　聖なる亀により天皇の不老長寿を願った

橘寺付近にある亀石だが、本来は路傍の石ではないはず

須弥山といわれている

胡人風の像

石舞台の巨石

これは何と亀石ではないか（上記亀石を参照）

この指摘は齋藤忠一氏からのものであるが、石舞台は単なる物理的な墓ではなく、神仙蓬莱思想が確実に信仰されていた証拠といえる。